

ビデオ北海道入社。二〇〇〇年四月(柳)アド
ビデオ北海道退職。〇六年から、本学専任
講師。〇九年から現職。

大林のり子(おおばやし・のりこ)

明治大学文学部准教授
神戸市生まれ。大阪大学大学院で演劇学専攻。
二〇〇四年より七年間北翔舞台芸術の専任教員を務める。二〇一一年より現職。
主に二〇世紀前半の上演および舞台美術の歴史研究。ドイツ語圏に出自を持つ演劇人の共同制作に根ざした舞台制作の状況、その国際的な活動について調査を進めている。

金田一仁志(きんたいち・ひとし)

日本俳優連合(西田敏行理事長)所属。日本演劇教育連盟全国委員。一九九五年、ロシア国内三劇場で、初の海外公演を成功させている。北海道教育大学、藤女子大学非常勤講師。九〇年札幌市民芸術祭奨励賞、九八年市民文化賞受賞。二〇〇〇年東京都フエスティバル(戯曲部門)全国ベストエント入選。〇九年、日本演劇教育賞ミニネット。北海道新聞夕刊のコラム「舞台裏から」執筆は六年を記録。さっぽろ市民ミュージカル代表。

野田頭希(のだがしら・のぞみ)

役者、会社員。(日本板硝子北海道株式会社)若小牧市生まれ。
北翔大学生涯学習システム学部芸術メディア学科舞台芸術コース卒業。
劇団B・I・S・t・a・g・e所属。

編集後記

PRORBE第一四号をお届けします。今年も発行することができました。執筆をしていただいた方々に心より感謝申し上げます。今年はいつにも増して編集作業が遅れ、ページ数が相当減少してしまいました。最後までお読みいただければ幸いです。

* * *

四月一日に新しい元号が「令和」になると発表され、四月三日に第一二五代天皇が退位し、五月一日に第一二六代天皇が即位された。私は、昭和から平成への改元も経験しているので諸儀式をテレビ等でみることが出来たはずだが、正直言って、当時は興味も関心もなかった。だが、さすがに私も年を取り(まして、学生に演劇を教えるようになれば、日本の伝統芸能のことにもある程度の知識が必要となり、今回の国事行為「剣璽等承継(けんじとうじょうけい)の儀」(即位後朝見(ちようけん)の儀、即位礼正殿の儀、「祝賀御列の儀」、「饗宴の儀」は、興味をもった。大嘗祭(だいじようさい)などのように、「秘儀」と言われれば、ああ、日本の伝統だなあ、なんて感じてしまったのである。

今年も異常気象の影響か、大型台風、大雨等による災害が起こった。

消費税も上がり、安倍長期政権が最長記録を更新した。日本がますます格差社会になっていくと感じている。「桜を見る会」の事やその対応など、言いたいことは山のようにあるが、ここで書くことではないだろう。

犯罪が起こる度に、「防犯」カメラによる映像が流され、あちこどこにも「監視」カメラがあるのだなあと暗澹たる気分になる。

不明を恥じるが、グーグルからメールが来て(余りにも頭にきたのですぐ削除してしまい、正確ではないが)、二〇一九年のあなたのマップのようないメールで、私の行った場所を地図入りで、そして、行った場所の建物の写真なんかもあったりして、知らせてくれた。できるだけスマホの位置情報をオフにしているが、旅行なんぞにでりゃ、オンにしている。何かの必要でオンにしてそのままオフにするのを忘れていたりする(今、確認したらオンになっていた。直ぐオフに)。なんで、グーグルさんに私の行動を監視されなければならないのか。余計なお世話である。

この怒りは、たぶん若い人々には理解されないだろう。監視されること(監視できること)が安心に繋がると思っていて、であるから、(大きな飛躍だが)「かぶき者」ははじかれるのだろう。そして監視しあうことに不感症である社会は、乱暴に言えば、ギスギスした嫌な社会なのだ。監視されることに不感症なのは、不寛容に繋がると思う。

今年に入って、このPRORBEで劇評を寄稿してくださいと松井哲朗さんの計報を聞いた。松井さんには本当にお世話になった。私が劇団を続ける原動力のひとつにもなっていた。次号で何らかの追悼をしたいと考えている。

(marumu)